

## 第二回飯倉駅前地区まちづくり協議会 議事録

日付	平成28年6月11日(土)	晴	書記	
出席者	委員	井上 峰夫(会長)、野沢 善一郎、鶴野 航三、鈴木 弘、柴田 実(監事代理)		
		守 正英、加瀬 功一(副会長)、平山 瑞子(監事)、椎名 英夫、松本 理、		
	匝瑳市役所	企画課長 太田 和利、まちづくり戦略室長 林 雅之		
	事務局	江波戸、鈴木(九十九里ホーム)		
添付書類				
<発言者>	<内容>			
井上会長	開会挨拶			
	本日は第2回飯倉駅前地区まちづくり協議会にご参加いただきましてありがとうございます。			
	第1回は顔合わせ、今後どのように進めていくか、概略の説明とご理解をいただきました。			
	第2回目はある程度具体的な話が出来ればと思っております。			
	この協議会も町の中では話題になっており、市議会の中で質問が出たりしています。			
	注目されるのは意味のある計画だからだと思っております。折角の集まりですので、遠慮のないご意見を			
	頂戴して進めていければと思っております。よろしく願いいたします。			
事務局	配布資料：第2回飯倉駅前地区まちづくり協議会			
	1.前回のおさらい			
	・枠組みについて・事業地について P2~P3			
	2.トピックス他			
	・コンビニ出店解禁・スマートウェルネス拠点整備、事例・地域包括ケアシステム P4~P7			
	3.対象エリアについて			
	・エリアの確認、合わせてサ高住の説明 P8~P11			
	4.協議会の進め方について			
	・HOP!STEP!JUMP! P12			
	5.協議会のスケジュールについて			
	・2016.05.31修正版説明 P13			
A委員	対象エリアとは何を目的とした線引きなのか。			
	また、良く若者が参加しないというが、集まる場を提供していない。仕掛けを考えていかないといけない。			
B委員	飯倉駅前地区の計画はこれだけなのか。匝瑳市のいくつかの構想があるうちのひとつなのか。			
事務局	匝瑳市のまちづくりの中で飯倉駅前地区に「認定こども園」と「特別養護老人ホーム」の計画があったので、			
	これをもとに何か波及できないかがスタート。計画としてはこれだけではない。			
B委員	この計画を行った場合、雇用だとか、色々な面で匝瑳市に対する利点やデメリットは。			
B委員	どのくらい匝瑳市の若者の雇用が創出されるかなど、細かい数字が見えてくればと思う。			
	また、匝瑳市は消滅可能性都市に指定されているが、介護に関するものも、人口的に不要になってくると			
	思われるが見通しはあるのか。			

事務局	現段階ではそこまでの見通しを立てていない。
B委員	介護保険が中心だと思うが、施設のサービスと、訪問など色々なサービスとの兼ね合いで、他の職種を圧迫するようなことは無いのか。
C委員	対象エリアを決めるのは利用者側であってこれでは狭いのでは。狭い範囲では参考程度か。他の保育所にも影響することなので、拡大でなく充実して欲しい。他への影響も考えて、市全体の為、施設のすばらしさを示してもらって広めて欲しい。エリアを設定した目的は。
事務局	地区の背景となる調査やアンケートを実施する調査対象としてのエリアの位置づけである。
D委員	こども園、介護施設は決まっていますが、函面等も時期が来れば、説明をしてもらえるのか。また残りのゾーンに何か出来ないかをこの場で話し合う認識でいいのか。
D委員	この場所を昔から見てきているが、駐車スペースは取れるのか。また施設を設けなくてよいとの結論になってもいいのか。仮に置いているのか。
C委員	子供の場合は遠くから来る可能性が高く、駐車スペースは大きめが必要だと思う。
井上会長	色々なご意見をいただいたが、まず対象エリアは事業を進めていくうえで、身近な地元の皆様の意見が聞きたい、そういった意味合いのエリアであって、事業・サービスのエリアではない。「地元」とするとどの範囲か、と考えていただければと思う。駐車場については、現地はまだまだ山になっていて、場所もいっぱいある。これをきっかけに整備されて人が大勢来てもらえれば、また人が大勢来てもらう為にはどうすればよいか検討いただければと思う。検討施設②のピンクのエリアは具体的なものはまだないが、障害者の方々の交流スペース・福祉・作業所、それらを活用した物販などが出来ればと想定している。他の介護事業者の方々を圧迫しないか、との件にはまったく影響がないとは申し上げないが、実際にはまだまだ需要の方が上回っている。市内の人たちだけを対象でなく、ある程度他所からも来てもらい、ここで働く人も来て頂く。今お子さんがいてパートでしか働けない方に対して「認定こども園」の役割をもっと広く、使い勝手の良いものにし、お母さん方に働いていただく。そうやって回っていくことで少しずつ良くなって行く。一気ににはありえない。最初の火種として、現実性のあるものを核として地域のためになるものをどうやって作っていくか、皆様の積極的なご意見を賜ればと思っている。
B委員	たとえばサ高住ができた時、訪問介護等のサービスに対して他の介護事業者もオープン参加できるようにしたらどうか。
井上会長	お互い活用し合い、切磋琢磨していければと思う。
E委員	市全体のまちづくりのメリット・デメリット、匝瑳市も高齢化が進んでいるので独居の方が入ってもらえば。この計画がひとつの例になってもらえればと思う。若い人の雇用も確保していかないといけない。アンケートはこのエリアでよいのでは。

D委員	エリアのメインが飯倉台、人は多いが地元と違う人が多い。アンケートはそこも配慮しながら、昔から住んでいる人の意見が大切だと思う。
F委員	地域の特色がある。農家も一人が多い。聞きづらい建物もある。市営住宅等色々あり、漏れが出てくるのでは。
井上会長	旧豊栄村 須賀村、八日市場の3つがちょうど入り混じっている所であり、それぞれ特色があり独特なものがあるので、それを念頭に入れながら進めていく必要がある。
G委員	アンケートをやることは大変良いと思うが、やり方が重要。個別にやるのか、またはどのようにやるのか。
事務局	6.実施内容について <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査、さんさんフェスタ参加、ワークショップ、意見交換会、事例視察等 P14</li> <li>・アンケートについてはやり方も含め、次回詳しくご意見伺えれば。その上で調査を進めていく。</li> <li>・直近では7/2の「さんさんフェスタ」でPRする予定。</li> <li>・有識者意見交換会・事例地視察については誰を呼びたい、どこに行きたい等ご意見賜りたい。</li> <li>・アンケートは協議会名で行う。</li> <li>・次回は7/9、その次は8/20（お盆はすず）</li> </ul>
A委員	コンセプトが重要で、国の政策でやるとよくない。プラスアルファが必要であり、匝瑳市の問題解決に絡めないといけない。社会的問題の解決と匝瑳市の問題の解決両方が必要。 人口減少と雇用の消失、子育て支援は避けて通れない。共働きがしやすいかがひとつのポイント、働きやすい、女性が安心して働ける環境・施設が求められている。 東京のある区に住んでいた方はどこも対応してもらえず、匝瑳市に来たらすべて相談にのって貰え、今匝瑳市に移住している。結構そういう方がいて、色々回ったが匝瑳市が一番いいと言われる方もいる。匝瑳市はまだポテンシャルを発揮してない。それを発揮して独自性のあるまちづくりが出来るのでは。 私は宿泊施設をつくってほしい。泊まる場所が無いと言われるので。ホテルと施設は同じようなもので転用できるようにするとかはどうか。
F委員	障害者自立支援協議会をやっているので検討施設②は先ほど理事長が言われた施設になれば良いのでは。
井上会長	ご意見ありがとうございます。少しずつ肉が付いてきたような気がします。 私も老人世帯で、片方だけ逝ってしまうと大変。二人でやっと、一組で生活している家は結構あると思う。 片方こけたら齢きびしい。そういう時、安心していられる仕組みを作ったら喜ばれるかと思っている。 支え合っていける仕組みを作っていけたらと思っています。 本日はありがとうございました。
	以上
	※毎月第二土曜日に行う予定。適時設定いたします。
	次回                      7月9日                      AM10:00～